

## 3-1 景観まちづくりの取り組みアイデアの例

## 建物のデザインアイデア

○高低差のある土地を活かした建物デザインを積極的に取り入れるルール作り



建物をひな壇状に配置し、変化に富んだ街並みを形成。

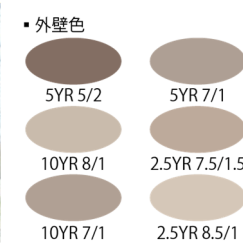


地区の眺めが楽しめるルーフテラスを取り入れる。

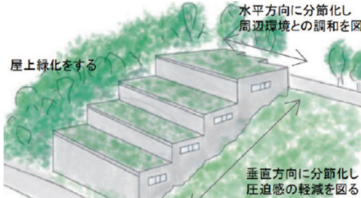
○歴史的資源や緑と調和する色彩・形のルール作り



神社や寺などの周辺では自然素材や調和する意匠を用いる。(出典)京都市景観計画

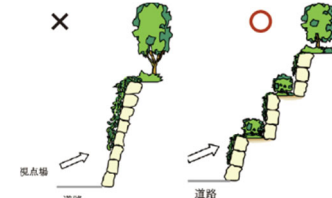


○建物や擁壁の圧迫感を軽減するルール作り



崖地の大きな建物は分節化し、圧迫感を軽減。

(出典)新宿区景観形成ガイドライン(落合第一地域)



擁壁は勾配をつけたり階段状にすることで圧迫感を軽減。

(出典)平塚市景観ガイドライン



自然素材や緑化ブロックを使用し、人工的な圧迫感を軽減。

(出典)平塚市景観ガイドライン

## 緑豊かな環境を保全・創造する取り組みのアイデア

○緑を増やすルール作り



擁壁や屋上を緑化する。

(出典)新宿区景観形成ガイドライン(若松地域)



視界に入る緑の量を増やすために、緑の植え方を工夫する。

(出典)西宮市 景観計画(甲陽園目神山地区)



隣近所と協力した美しいお庭が並ぶまちなみづくり。

(出典)戸田市 三軒協定

○緑を育てる活動・ルール作り

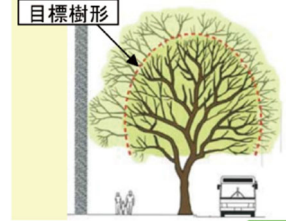


地域での落ち葉の清掃などの緑の維持管理活動の推進。



区民農園の美しい維持管理の推進。

(出典)東京都都市整備局 農の風景育成地区制度 HP (町田市 下小山田・園師町)



樹木の形を活かした剪定。

(出典)芦屋市 街路樹更新計画策定に向けて

## 地域の魅力をより高める取り組みのアイデア



地域の特徴である坂道や歴史を発信するマップづくり。



景観の魅力や課題を発見するまちあるきイベント。

## 板橋区の景観まちづくりに関する問い合わせ先

板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係  
tel. 03-3579-2549 (直通)  
fax. 03-3579-5436  
email: t-keikan@city. itabashi. tokyo. jp

編集: 株式会社地域計画建築研究所 (アルパック)  
発行: 板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係  
赤塚四・五丁目地区景観まちづくり勉強会

## 1-1 景観まちづくりプランとは

板橋区では、令和5年度より赤塚四・五丁目地区(以下、「本地区」という)の、将来目指したいまちの景観の方向性を考える、景観まちづくりに取り組んでいます。

「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン」は、「赤塚四・五丁目地区景観まちづくり勉強会」で出た会員の皆さまのご意見や、本地区にお住まいの皆さまを対象に実施したアンケート調査の結果をもとに、本地区で目指す景観の将来像や、その実現に向けた景観まちづくりの方向、具体的な取り組みアイデア等を示すものです。

令和6年度も、この景観まちづくりプラン骨子(案)を基に、本地区の景観の課題や将来像、景観まちづくりの取り組みアイデア等について、勉強会で検討を深めていきますので、是非一度ご覧ください。

## 今後(令和6年度)の勉強会の予定

ご興味・ご意見などある方、専門知識がない方でも OK です。是非お気軽にご参加ください。勉強会に参加をご希望の方は、電話・FAX にて受付しております。P4 のお問合せ先までご連絡ください。

勉強会	時期	テーマ
第4回	5月頃	赤塚地区のまちあるき
第5回	6月&夏頃	景観まちづくりのルールなどのアイデア出し
第6回		
第7回	秋頃	ワークショップ(※最終回)

地区の景観の魅力を皆さんと楽しむ「ワクワクあかつかProject」も引き続き企画しております。

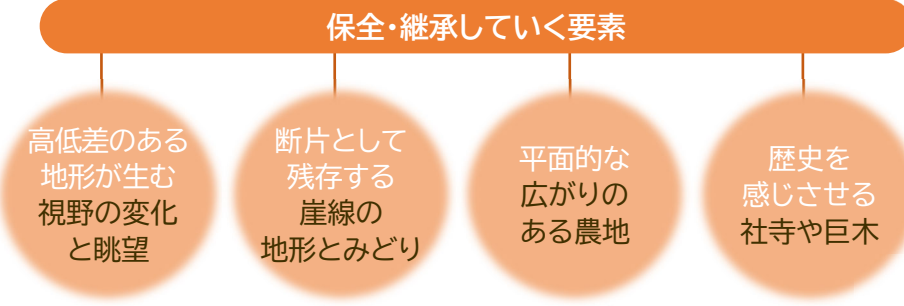
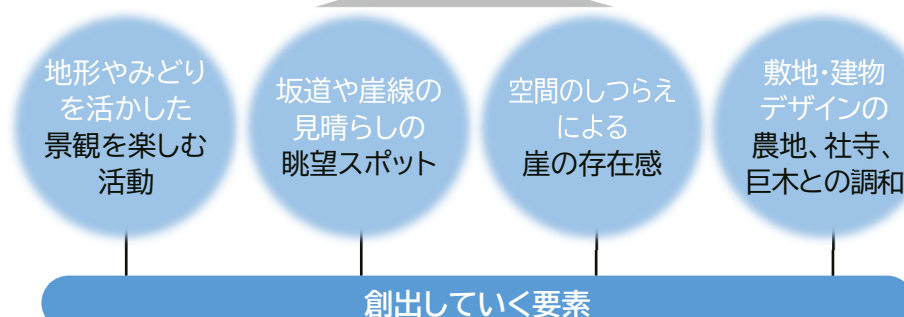
○プランの対象範囲



## 1-2 景観まちづくりの方向

## 景観の将来像

本地区の景観資源を保全し継承しながら、それらと調和し、魅力を引き立て、享受できる環境を創出していくことにより本地区らしい景観をつくっていくものとし、景観の将来像を以下のように定めます。

【景観の将来像】  
変化のある眺めと緑豊かで落ち着いた住宅地の景観

## 景観まちづくりの方針

## 地形による変化のある眺望を活かした景観づくり

地形が生み出す変化のある眺望を日常的に楽しんだり、意外な眺望に出会うことができる景観づくりを進めていきます。

## 崖線のみどりや農地のみどりに親しむ・楽しむ景観づくり

ばらばらに存在している崖線や農地を身近に感じ、触れられる景観づくりを進めていきます。

## 歴史・文化を感じさせる深みのある景観づくり

歴史の再発見を促し、培われてきた文化に触れることができる深みのある景観づくりを進めていきます。



## 2-1 地区の魅力

本地区には赤塚ため池公園や赤塚公園を中心とする板橋崖線などの自然や、崖線周辺に点在する神社仏閣などの歴史・文化的資源があります。本地区の自然や歴史、文化などの資源が「暮らし」と上手に調和している魅力的な景観を紹介します。

### ① 起伏の豊かな地形が生む変化のある眺め

本地区には、板橋崖線による斜面緑地のほかにも複数の谷筋がみられ、起伏の高低差を処理するための坂道や階段が多く見られます。

::変化のある眺めをつくりだす資源

::地形による魅力的な景観

崖線

坂道

暗渠

階段

○ダイナミックなスリパチ景観 ……

○俯瞰するパノラマ景観 ……

○歩いて楽しめる小道の景観 ……

### ② 大小さまざまなみどりが織りなす潤いのあるまちなみ

板橋崖線には貴重な緑地が残されているほか、赤塚氷川神社や赤塚乳房大神などには長い歴史のなかで大切にされてきた大径木があり、まちの景観に風格を与える地域共有の財産となっています。

また、住宅の植栽は彩り豊かで、季節ごとにまちのみどりを形作っており、大小さまざまなみどりが織りなす景観が赤塚地区の特徴です。

::大小さまざまなみどり

::みどりがつくる様々な景観

崖地に残る緑地

大径木

住宅の植栽

公園や街路樹のみどり

○「崖線」がつくる  
みどり空間 ……

○参道の並木 ……

○シンボルツリー ……

::様々な楽しみ方ができるみどり

○あふれだす  
小さなみどり ……

○おいしいみどり(農地) ……

○音で楽しむ ……

### ③ 重層的な歴史が編み出すまちなみ

本地区は、鎌倉末期の文書に赤塚郷という地名が登場するなど古くから人の営みがある地区です。地区内には、赤塚氷川神社や清涼寺など歴史を感じられる資源が点在しています。

また、かつては田畑が広がる田園集落であったこの地区には、そのころの面影をみることができます。

赤塚氷川神社

清涼寺

### ④ 地区住民の交流・地区への愛着を育む様々な活動(アクティビティ)

本地区には、農業を中心とした暮らしなど、地区の人たちによって紡がれてきた歴史があり、それらを今に伝え、みらいにつなげていく多くの活動が行われています。

神事で歴史を感じる

土に親しみ、楽しむ

ハレの日※1の景観

※1 ハレの日 :年中行事やお祭りを行う日のこと。

## 2-2 地区の景観の課題

### ●地形の大きな改変により生じた圧迫感の軽減

高低差の多い本地区では、開発等に伴う地形の改変により擁壁が多くみられます。人工的な素材による無機質な高い擁壁は、通りに圧迫感をもたらします。

### ●眺望を楽しむ視点場づくり

せっかくの眺望も木々によって視界が遮られていたり、くつろぎながら眺望を楽しむ場所がないなどの課題がみられます。

### ●みどりの「量」の維持・保全

本地区では近年宅地開発が進み、外構が無機質な新築住宅が多く、農地の転用に合わせてみどりの景観が失われつつあります。

### ●みどりの「質」のさらなる向上

崖線のみどりについては、クズがはびこっていたり、擁壁になっていたりします。貴重な地域の財産である保存樹木も越境枝や落ち葉の問題で本来の樹形を残すことが難しくなっているケースもみられます。